

トラック輸送情報（平成19年1月分）

平成19年4月16日

国土交通省総合政策局情報管理部交通調査統計課

担当：山本、安達 内線28315

直通：03-5253-8344

ホームページ：<http://toukei.mlit.go.jp/>

1. 特別積合せ貨物

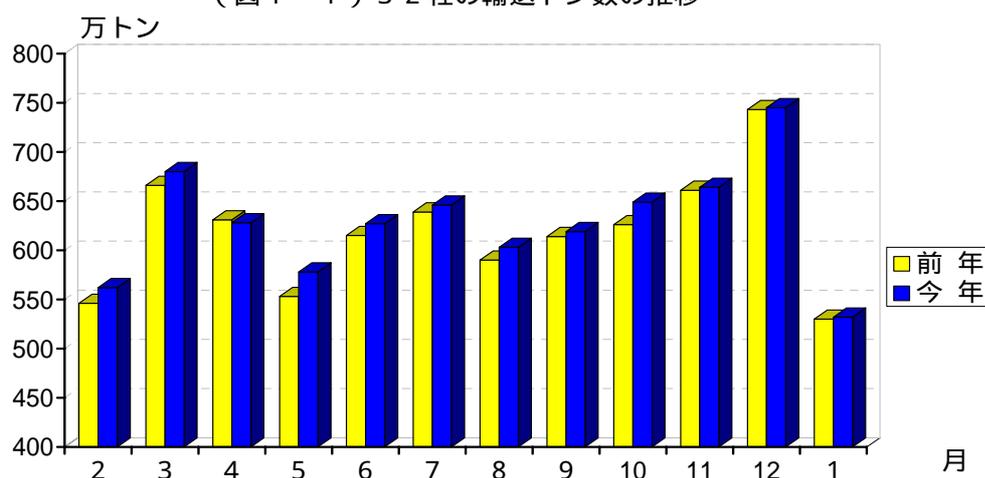
(1) 本月の概況

調査対象32社の本月の輸送量は、5,321,854トンで、前月と比べ総輸送量が約214万トン減少したため、前月比71.3%（季節調整済み95.7%）となり、前年同月との比較では、約2万トン増加したため、前年同月比100.4%の実績であった。

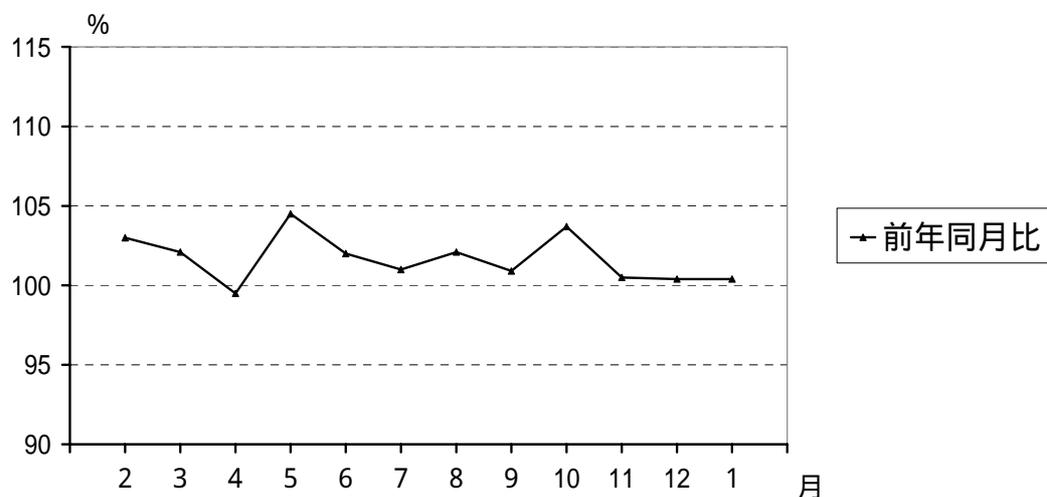
なお、平均稼働日数は21.6日で、前月と比べ1.8日の減少、前年同月と比べ、0.1日の減少であった。稼働1日当たりの輸送量は、246,382トンで、前月と比べ約7万トン減少したため、前月比78.0%となり、前年同月との比較では、約2千トン増加したため、前年同月比100.9%の実績であった。

（図1-1、図1-2参照）

（図1-1）32社の輸送トン数の推移



（図1-2）32社の輸送トン数の前年同月比

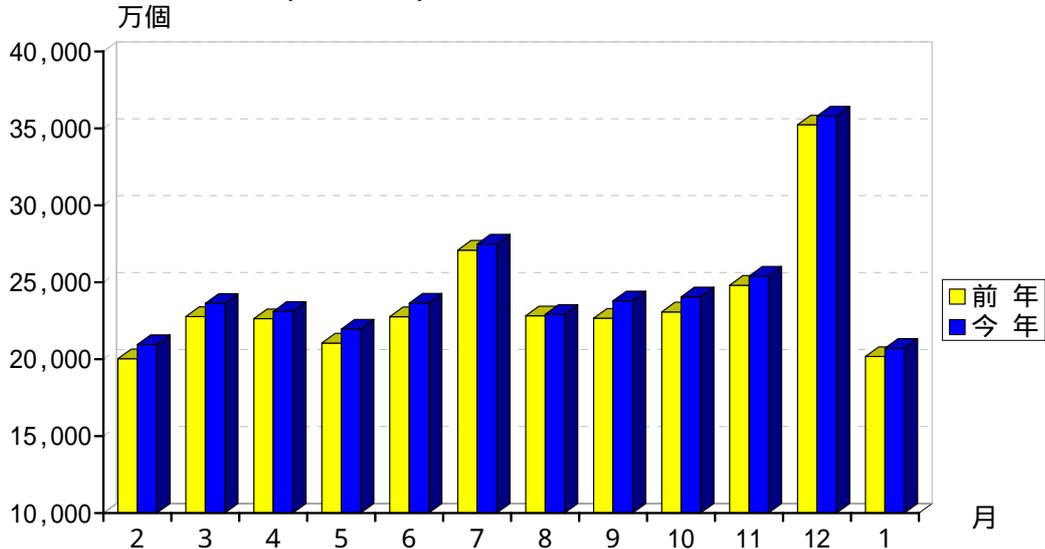


(2) 宅配便の概況

調査対象 19 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、207,108 千個で、前月と比べ約 1 億 5,090 万個減少したため、前月比 57.9% (季節調整済み 102.7%) となり、前年同月との比較では、約 538 万個増加したため、前年同月比 102.7%の実績であった。

(図2-1、図2-2参照)

(図2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 品目別及び地域別輸送状況 (表1参照)

前月と比べると、年末繁忙期が終了したことや正月休みによって稼働日数が減少したこともあり、貨物量が減少した。品目別では、全ての品目で減少回答が多かった。減少要因としては、主に工場・生産地からの貨物減及び季節的需要減であり、地域的にも、全品目で、全国的に減少した。

前年同月と比べると、貨物量は微増であった。増減要因としては、「化学工業品」は工場・生産地からの貨物増があった。一方、「金属製品」は工場・生産地からの貨物減があった。地域的には、「機械」及び「食料工業品」が福岡を中心に増加し、「その他」は全国的に増加した。一方、「金属製品」が北陸信越、大阪で、「機械」が愛知で、「化学工業品」が関東で、「食料工業品」が北陸信越で、「日用品」が神奈川、関東、中国を中心にそれぞれ減少した。

(表1) 品目別増減状況(回答事業者数 32社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	増減要因	
	著増	増	変らず	減	著減				
前 月 に 比 べ て	農水産品			11	3	4	野菜、青果物	東北、関東、中国	4, 8
	金属製品	1	15	9	2		その他の金属製品	北陸信越、大阪、近畿、福岡	4, 7, 8
	機械	1	14	10	2		その他の機械、機械部品	神奈川、中部地方、兵庫、近畿	8
	化学工業品			11	15	4	合成樹脂、その他の化学工業品	東京、関東、愛知、近畿地方、中国	4, 7, 8
	繊維工業品			18	9	2	織物	関東地方、中部地方、大阪、中国	4, 8
	食料工業品	1	10	11	5		飲料、その他の食料工業品、加工食品	関東地方、愛知、大阪、兵庫、中国	4, 7, 8
	日用品			10	13	6	書籍・印刷物、文具、玩具、その他の日用品	関東地方、北陸信越、愛知、近畿地方、中国	4, 5, 7, 8
	その他			13	7	8	宅配便、百貨店配送品	関東地方、大阪、中国、全国	2, 4, 8
	前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品	2	13	3			野菜、青果物	
金属製品				22	4	1	その他の金属製品	北陸信越、大阪	4
機械		1	4	16	5	1	その他の機械	福岡	
							その他の機械、機械部品	愛知	
化学工業品		1	4	21	4		その他の化学工業品		4
								関東	
繊維工業品			1	27	1				
食料工業品			3	20	3	1	飲料、その他の食料工業品	福岡	
								北陸信越	
日用品		3	17	8		その他の日用品			
						書籍・印刷物、その他の日用品	神奈川、関東、中国		
その他		6	19	2	1	宅配便、百貨店配送品	全国	8	

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県、九州は沖縄を含む)]単位である。なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2 . 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 799 社 / 調査対象事業者数 1,063 社）の輸送量は、前月比 87.8%、前年同月比 102.0%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北陸信越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前 月 比	87.8%	91.1%	84.6%	87.7%	84.0%	89.9%	85.1%	88.7%	88.8%	83.7%	95.2%
前年同月比	102.0%	102.7%	100.5%	98.1%	98.3%	98.0%	119.3%	102.7%	101.2%	99.7%	116.6%

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、対前月比は91.1%、対前年同月比は102.7%であった。品目別には、「水産品」、「食料工業品」、「廃棄物」等の輸送量が増加した。一方、ビートの輸送が終了したため「その他の農産品」が、各種工事の終了により「木材」、「砂利・砂・石材」、「セメント」が、その他「工業用非鉄金属鉱物」、「鉄鋼」、「その他の石油製品」、「日用品」、「動植物性飼・肥料」、「取り合せ品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は減少傾向、以降は横這い傾向と予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送は、対前月比84.6%、対前年同月比100.5%であった。品目別には、「穀物」、「金属製品」の輸送量が増加した。一方、建設関係の需要減により「砂利・砂・石材」が、スーパー、小売業の販売不調から「水産品」、「食料工業品」が、その他、「機械」、「その他の窯業品」、「その他の製造工業品」、「取り合せ品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は横這い傾向、以降は増加傾向と予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、対前月比87.7%、前年同月比は98.1%であった。品目別には、「その他の窯業品」、「その他の製造工業品」、「その他」の輸送量が増加した。一方、「金属製品」、「機械」、「食料工業品」、「日用品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに横這い傾向と予想される。</p>
北陸 信越	<p>本月の輸送は、対前月比84.0%、対前年同月比は98.3%であった。品目別には、「化学肥料」、「金属くず」の輸送量が増加した。一方、暖冬のため「揮発油」、「その他の石油製品」が、建設関係の需要減により「砂利・砂・石材」、「セメント」が、その他「食料工業品」、「その他」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は横這い傾向、以降は増加傾向と予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、対前月比89.9%、対前年同月比は98.0%であった。品目別には、「その他の化学工業品」、「繊維工業品」、「食料工業品」、「日用品」、「動植物性飼・肥料」の輸送量が増加した。一方、「金属製品」、「セメント」、「その他の窯業品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比85.1%、対前年同月比は119.3%であった。品目別には、「金属製品」、「その他の製造工業品」の輸送量が増加した。一方、「機械」、「その他の石油製品」、「食料工業品」、「その他」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送は、対前月比88.7%、対前年同月比は102.7%であった。品目別には、大豆の収穫期により「穀物」がやや増加した。一方、自動車製造等の工場の休暇に伴い「機械」が、記録的な暖冬の影響により「その他の石油製品」が、長雨が続いたため「水産品」が、近距離輸送の減少から「紙・パルプ」が、その他「セメント」、「その他の化学工業品」、「日用品」、「取り合せ品」の輸送量が減少した。今後の輸送の見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比88.8%、対前年同月比は101.2%であった。品目別には、季節的需要増により「その他の石油製品」が、その他「水産品」、「鉄鋼」、「機械」、「その他の化学工業品」等の輸送量が増加した。一方、「穀物」、「その他の農産品」、「揮発油」、「食料工業品」、「日用品」、「動植物性飼・肥料」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は横這い傾向、以降は増加傾向と予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比83.7%、対前年同月比は99.7%であった。品目別には、「木材」、「砂利・砂・石材」、「その他の窯業品」の輸送量が増加した。一方、季節的需要減により「野菜・果物」、「その他の農産品」、「畜産品」、「食料工業品」、「日用品」、「動植物性飼・肥料」が、建設需要の減少により「セメント」が、その他「紙・パルプ」、「その他」等の輸送量が減少した。今後の輸送の見通しは、次月は減少傾向、以降は増加傾向と予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、対前月比で95.2%、対前年同月比は116.6%であった。品目別には、前月に続き大型店舗等の建設により「鉄鋼」の輸送量が増加した。一方、季節的需要減により「その他農産品」（花卉）「食料工業品」（ビール・飲料水）が、価格高騰により「木材」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は減少傾向、以降は増加傾向と予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況(対前月比)

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局										
		北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
1. 穀物	増		2		1			1				4
	減		1	1	1				1			4
2. 野菜・果物	増								2	1		3
	減	1	1		2				2	9		15
3. その他の農産品	増											
	減	5		1		1			1	2	1	11
4. 畜産品	増											
	減		1					1		2		4
5. 水産品	増	3							1			4
	減	2	2					2		1		7
6. 木材	増				1					1		2
	減	7	1		1			1			1	11
7. 薪炭	増											
	減											
8. 石炭	増							1				1
	減											
9. 金属鉱物	増											
	減	1										1
10. 砂利・砂・石材	増	2	1					2		4		9
	減	11	4		4		1	2		3		25
11. 工業用非金属鉱物	増				1							1
	減	2	1					1				4
12. 鉄鋼	増		1				1	1	1	2	1	7
	減	2	2		2		1			2		9
13. 非鉄金属	増											
	減		1	1	1		1					4
14. 金属製品	増		2				1	1				4
	減	1		2	2	2		1		1		9
15. 機械	増								1	3		4
	減		3	2	1	1	3	7		2		19
16. セメント	増		1							2		3
	減	5	2		1	2		2		5		17
17. その他の窯業品	増	1		1			1	1		2		6
	減		3		2	2		1				8

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
	18. 揮発油	増										
	減	1	1		3			1	1	1		8
19. その他の石油製品	増							1	2			3
	減	4	1		3		2	3		1		14
20. コークス・ その他の石炭製品	増											
	減				1							1
21. 化学薬品	増											
	減							1		1		2
22. 化学肥料	増				1					1		2
	減	1								1		2
23. その他の化学工業品	増					1		2	1			4
	減			1			1	4				6
24. 紙・パルプ	増								1			1
	減		1	1	1		1	3	1	2		10
25. 繊維工業品	増					1						1
	減											
26. 食料工業品	増	3				1		2		1		7
	減	1	5	2	3		4	3	3	3	1	25
27. 日用品	増		1			1		1				3
	減	2	1	2	2		1	3	1	2		14
28. その他の製造工業品	増			2			1	1	1	1		6
	減		2	1				1		3		7
29. 金属くず	増				1							1
	減											
30. その他のくずもの	増											
	減											
31. 動植物性飼・肥料	増					1						1
	減	4	1	1				1	1	3		11
32. 廃棄物	増	8								2		10
	減	7								2		9
33. 輸送用容器	増	1										1
	減		1									1
34. 取り合せ品	増											
	減	2	3					2		1		8
35. その他	増			2	1	1		1				5
	減		1	1	5	2	5	1		3		18